取扱説明書
PWM信号制御調光器
OP01286-01

OP01286-01 20140715

保管用

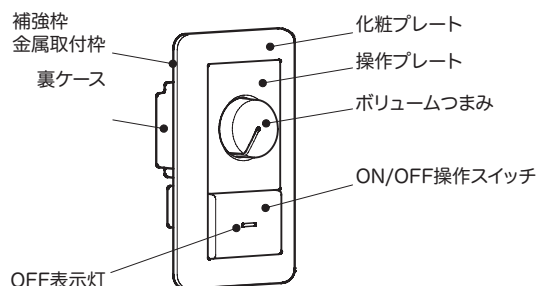
このたびは、PWM信号制御調光器をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用になる前に必ず本説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

安全上のご注意

■ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

⚠ 警告	⚠ 注意
この器具は壁埋込専用器具です。 指定場所以外には取付けないでください。 火災・落下の原因となります。	使用時、内部素子の発熱により本体表面が 50 ～ 65°になることがありますが、異常ではありません。
周囲温度0～35℃以外では使用しないでください。 火災の原因となります。	調光時、内部の電子部品がうなり音を発生することがありますが異常ではありません。
器具の直下や近くでは、火気などを使用しないでください。 火災・感電・落下の原因となります。	ラジオやオーディオ機器の近くでのご使用になると、音声に雑音が混ざることがありますので、下記のような対策を実施してください。 ・オーディオ機器のアースを確実にとってください。 ・チューナ (ラジオ) にはアンテナを張ってください。 ・本器と他の機器との間は 1m 以上離してください。
器具にその他の荷重をかけたり、布や紙などの可燃物で覆わないでください。 火災・感電・落下の原因となります。	電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。 一般の方の工事は法律で禁止されています。
器具の改造、部品の変更は行わないでください。 火災・感電・落下・転倒等の原因となります。	照明器具には寿命があります。 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。 ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。
煙・臭いなどの異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。 火災・感電の原因となります。	周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

【各部の名称】

【仕様】

項目	仕様
電源電圧 / 周波数	AC100V(50/60Hz 共用)
使用温度範囲	0～35℃
調光信号出力	12V PWM 信号 60mA 無極性
最大調光信号線長	100m以内
推奨適合信号線	CPEV-1P φ0.9～1.2
スイッチ	3 路オフライトスイッチ付
適合スイッチボックス	JIS C8340/JIS C8435 1個用 (別売)
最大接続台数	調光器のスイッチで ON/OFF する場合 入力電流 10A 以下と、トータル信号容量 60mA 以下のどちらか少ない台数

ご使用方法

①ON/OFF操作スイッチを押してONにしてください。(調光器のスイッチでON/OFFする場合)
②ボリュームつまみを操作してお好みの明るさに調光してください。
③消灯は、再度ON/OFF操作スイッチを押しOFFにしてください。照明が消灯し、OFF表示灯が「緑」に点灯します。

ご使用中に異常が生じたときはスイッチを切り、下記お客様相談窓口またはお買い上げの販売店・工事店にご相談ください。

マックスレイ株式会社 **お客様相談窓口** 東　京 03-5456-0311
http://www.maxray.co.jp
大　阪 06-6967-0123
名古屋 052-252-9556
福　岡 092-431-7824

OP01286-01 20140715

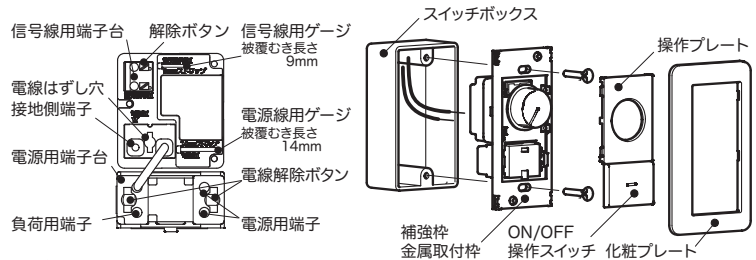
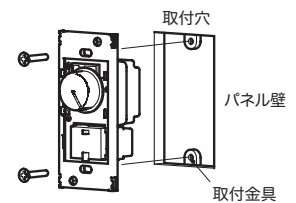
施工説明書

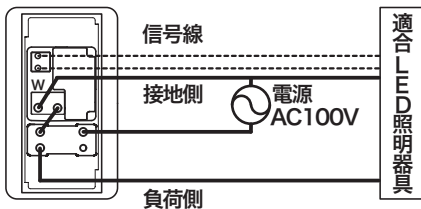
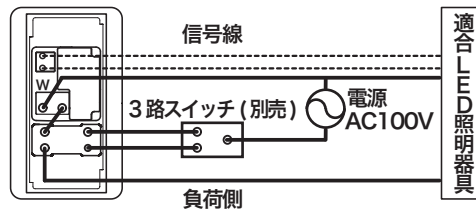
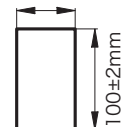
●**必ず専門業者の方が施工をおこなってください。**
●**必ずお客さまに取扱いの説明を行なっていただき、この説明書をお渡しの上、保管をお願いしてください。**

取付けかた

●必ず電源を切って作業してください。
●電源の接続
　①電線はφ1.6またはφ2.0の銅単線を電線被ふくを調光器側14㎜、操作スイッチ側12㎜むいて使用してください。
　②右図を参考に芯線が完全に止まるまで奥まで強く差しこんでください。
●信号線の接続
　①φ0.9～φ1.2のCPEV-1P電線を使用し電線被ふくを9㎜むいて使用してください。
　②右図を参考に信号線を信号用端子台に確実に接続してください。
　※信号線に極性はありません。
●調光器をスイッチボックスなどの所定位置に取付けネジ2本で確実に固定し、プレート類をはめてください。
●電線類をはずす時は必ず電源を切り、解除ボタンをドライバーなどで押しながら引き抜いてください。

信号線用端子台
解除ボタン
信号線用ゲージ 被覆むき長さ 9mm
電線はずし穴
接地側端子
電源線用ゲージ 被覆むき長さ 14mm
電源用端子台
電線解除ボタン
負荷用端子
電源用端子

スイッチボックス
操作プレート
補強枠 金属取付枠
ON/OFF 操作スイッチ
化粧プレート

〈パネル壁の場合〉
パネル壁の場合は下図の様に取付けてください。

【結線図】

●1ヶ所で調光および点滅操作する場合

●2ヶ所で点滅操作する場合
※2ヶ所での調光はできません。

- 切抜穴寸法 -

※深さ 40 ㎜以上

安全に関するご注意

⚠ 警告

●器具本体表示または本説明書に従って施工してください。
　施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
●トリップテスト(ブレーカーテスト)は調光器を取付ける前におこなってください。
　一瞬の短絡で調光器はこわれます。
●電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている定格電圧でご使用ください。過電圧を加えるとランプ寿命が短くなるほか、部品が過熱し火災・感電の原因となります。
●必ず最大接続台数以下の器具でご使用ください。
　異常発熱や火災の原因となります。
　最大接続台数を超えた使用は火災の原因となります。
　最大接続台数は照明器具によって異なりますので右記の表に従ってご使用ください。
●電線は必ずφ1.6またはφ2.0の銅単線を使用してください。
　指定以外の電線の使用や不十分な結線は機器の異常発熱・火災の原因となり危険です。
●誤結線や負荷短絡をしないでください。
　調光器内部の半導体が一瞬でこわれ、発火することがあります。
●屋内配線の電源・ケーブル等が本体に接触しないように施工してください。
　また、器具の取付部を除く外かくが、造営材・ダクトに直接触れないように施工してください。
　施工に不備があると火災・感電の原因となります。
●浴室など湿度が高いところや屋外に取付けないでください。
　火災や感電する恐れがあります。
●改造しないでください。異常発熱や火災などの原因となります。

最大接続台数

調光器のスイッチでON/OFFする場合 入力電流10A以下と、トータル信号容量60mA以下のどちらか少ない台数

⚠ 注意

●調光器を複数使用して2ヶ所以上での調光はできません。
●複数台を並べて取付ける場合は、プレート相互間隔をそれぞれ、上下10cm・左右3cm以上離してください。
●電源に絶縁型トランスを設置して使用することはできません。ちらつきなどが発生する場合があります。
●電源事情の悪いところでは電球がちらつく場合があります。